

夢あふれる元気な小樽を実現するための四つの約束

●次世代をつくる

安心して子どもを産み育てることができ、全ての子どもたちが能力や可能性を発揮できるまちづくりを進めます。

●にぎわいをつくる

豊かな自然や歴史・文化を生かし、市民に根ざした観光のまちづくりや、地域経済を支える中小企業が元気に事業を続けることができるまちづくりを進めます。

●安全をつくり、安心を生む

全ての市民が健康で、生きがいと夢を抱きながら、安心・安全に暮らすことができるまちづくりを進めます。

●未来をつくる

公共施設や小樽駅前、小樽港の整備、新幹線の活用など、人や物が活発に交流するまちづくりを進めます。



議事堂での就任あいさつ（8月27日）

市長のプロフィール <Profile>

迫 俊哉(はざま・としや)

○略歴

昭和33年8月18日小樽市生まれ（60歳）
 稲穂小学校、西陵中学校、小樽潮陵高校卒業
 昭和57年3月 高崎経済大学経済学部卒業
 昭和57年4月 小樽市役所入庁
 平成15年6月 企画部企画調整担当主幹
 平成16年4月 総務部企画政策室主幹
 平成17年4月 経済部産業振興課長
 平成20年4月 産業港湾部産業振興課長
 平成22年4月 総務部企画政策室長
 平成23年6月 総務部長
 平成27年6月 教育部長
 平成28年4月 生活環境部参事
 平成29年2月 小樽市役所退職
 平成30年8月26日 小樽市長に就任

○小樽野球協会部長・同OB会事務局長、日本ユーラシア協会小樽支部理事、小樽ファイターズ倶楽部事務局長、絵本・児童文学研究センター理事、小樽三曲協会会員ほか

○趣味 ～ 野球、クロスカントリー

○家族 ～ 妻と1男2女

○座右の銘 ～ 「努力は裏切らない」

でスクラムを組んで、ゴールを目指していききたいと思えます。

皆さんからの 負託に応えるために

私がこのたび、多くの市民の皆さんのご支援を頂いたのは、ひとつには35年間という行政経験から、即戦力としてのご期待を頂いたことにあると思っております。

これまで培った経験を生かし、議会や経済界との関係を正常化していくことは、早急に行わなければならぬことであるとと考えています。常に小樽を良くしていくこと、将来へのまちづくりを考えて取り組んでいる両者と、しっかりと対話や議論を重ねながら、スクラムを組んでいききたいと思えます。

あわせて、今、小樽が抱えているさまざまな課題の中には、急いで解決していかなければならないものも数多くあります。

スピード感を持って議論をし、決断をして、機を逃さずに施策や事業を実施していくことで、皆さんのご期待に応えていきたいと思えます。

また、昨年2月末の市役所退職以来、多くの市民の皆さんと対話をしてきた中で、市役所の体質や市職員の接遇対応などへの満足度がまだまだ低いことや、市職員にも変わってほしいという思いも感じました。

市民の皆さんに信頼していただける市役所を目指して、市職員の見識改革についても取り組んでい

きます。

小樽の将来に 「みちすじ」を付ける

私は、小樽のより良い未来に向けたまちづくりのために、市民の皆さんと、大きく「四つの約束」をします（上の囲みを参照）。

これから4年間、この約束を果たすために、具体的な施策や事業を展開し、着実に進めていくことで、ふるさと小樽を「再起動」していきます。

そして、夢あふれる元気な小樽の実現への「みちすじ（道筋）」を付けることが私の役割と考え、明るく開けた道を進んでいけるよう、これからの世代に確かなバトンをつないでいききたいと思えます。

市長就任のごあいさつ

「おたる再起動」

夢あふれる元気な小樽を目指して



小樽市長
 はざま
迫
 とし
俊哉
 や

このたび、小樽市長に就任した迫俊哉です。

まず、今回の北海道胆振東部地震で被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

さて、多くの市民の皆さんからのご支援を頂き、これから4年間、ふるさと小樽の市政を担うこととなりました。ご期待に応えることができるよう、まちづくりを再起動させ、着実に進めてまいります。

まちづくりは

スクラムトライで！

私は、まちづくりは市民の皆さんを始め、議会や経済界、まちづくり団体や市職員などとの、しっかりとした対話や議論によるコミュニケーションを図りながら進めていくべきものと考えています。

なぜなら、立場や考え方の違いはあっても、共に小樽を良くしようという熱い思いは皆同じです。より多くの対話や議論を行うことで、いろいろな視点から物事を考え、小樽にとってより良い方向を選び、進んでいくことができると思えます。

皆さんとともに理解を深め合い、力を結集し、ラグビーでいうところの「スクラムトライ」、全員